



昨年度、この新城地域自治区(新城小学校区)で高齢化社会対策事業として、2つの実証実験事業が実施されたことをご存じでしょうか。今回の地域協議会だよりでは、その2つの事業の実証実験結果の概要についてお知らせさせていただきます。**なお、この2つの事業は、今年度も引き続き実証実験事業として実施します。**

また、紙面スペースの関係で、載せられなかったアンケート結果等については、市のホームページに掲載いたしましたので、そちらもぜひご覧ください。インターネット検索画面で、『新城地域自治区』と検索してください。

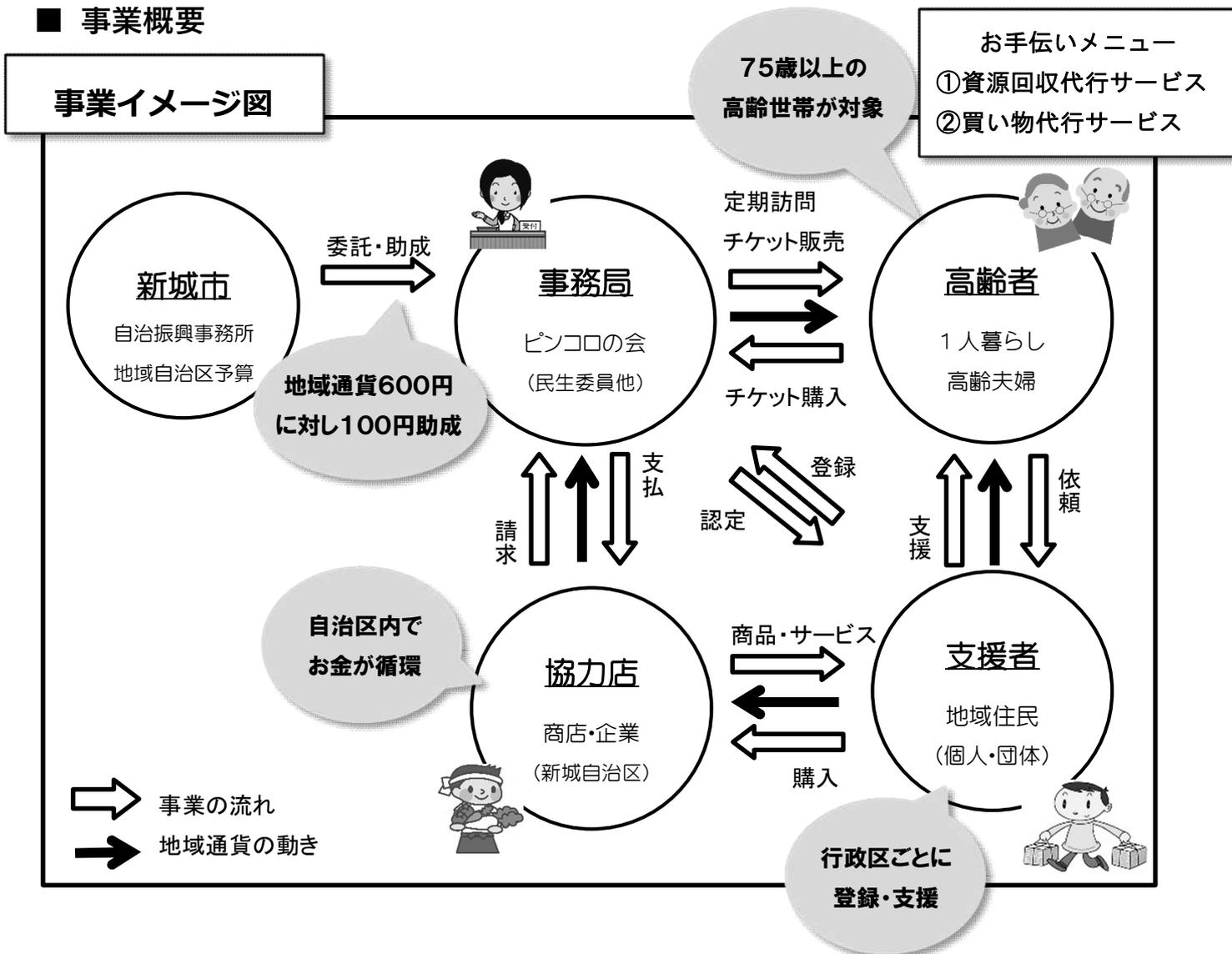
高齢者日常生活支援事業 - しんしろお手伝いチケット -

■ 事業目的

いま、新城地域自治区では、高齢化の進行に伴い、高齢世帯が増加しています。高齢世帯のお宅では、買い物やゴミ出しなど、日常生活において何かと不便が生じます。そうした困り事は、これまで隣近所の助け合いの中で解決してきましたが、高齢化率の上昇に伴い、支える側と支えられる側の双方に支障が生じてきています。

そこで昨年度より、今後も地域で継続的な助け合いが行われるように、地域通貨を媒介させた助け合い制度を始めました。昨年度の利用件数はわずかでしたが、「今は大丈夫だが、いずれは利用したい」との声も寄せられています。

■ 事業概要



■高齢者日常生活支援事業 -しんしろお手伝いチケット- 実証実験結果



支援者（サポートスタッフ）

サービス(資源回収代行・買い物代行)を希望する高齢者のお手伝いを実施していただく方です。
平成29年7月より、民生委員による声かけや回覧等で支援者の募集を行いました。

支援者登録数 33名

かつてこの地域にあった、隣近所における助け合いの精神は現在でも続いていることがわかりました。今回ご登録いただいた支援者数が、事業最大の成果であると考えます。

～ 支援者(サポートスタッフ)からいただいたアンケート結果 ～ 回収率 79%

この事業を知ったきっかけは？ ①民生委員から聞いて 20名 ②回覧 4名 ③その他 5名

応募のきっかけは？ ①趣旨に賛同 16名 ②地域のために何かしたくて 7名 ③その他 4名

実際に支援をしたか？ ①支援した 7名 ②支援依頼はなかった 19名

資源回収や買い物代行以外をお願いされたか？ ①されなかった 6名 ②その他 1名

依頼されたわけではないが、お困りの様子であったので、お寺へのお届け物を代行した等
サービスメニューの拡大等についてのご意見

- ・周知がまだまだだと感じた
- ・この事業の情報が少なく、利用者・支援者とも理解ができていないと感じる
- ・資源回収・買い物代行が充実(十分に)してから考えるべきだと思う
- ・多様な生活支援 情報伝達支援 健康づくり支援 サロンの開催 病院の送迎
- ・資源回収時の量について、両手で持てることを条件としてほしい
- ・メニューの拡大を考える場合、そのメニューに対応できるスタッフを確保する必要がある
- ・今は自分でなんとかできるけれど、そのうちお世話になるかもしれないという方が見えました
- ・この事業終了後、資源回収の代行をお願いしたいがお礼(チケットを渡すこと)ができないので、頼みづらいという利用者の方がお見えになった



実証 結

利用者（利用条件 75 歳以上の独居又は高齢世帯の方）

日常生活支援を依頼する高齢者の方です。対象となる高齢者の方に、民生委員さんからこの事業のことをご紹介いただき、この事業を利用したいという高齢者の方に、「しんしろお手伝いチケット」を販売いたしました。

利用者数 8名

今のところ、日常生活でそこまで困っている高齢者は少ないという印象を受けますが、支援者アンケートにあるとおり、この制度については、まだまだ周知不足であり、これから支援を必要とする高齢者が増える可能性があります。この制度はそういった方たちのセーフティネットとして必要な事業であると考えます。

～ サービス利用者からいただいたアンケート結果 ～ 回収率 75%

この事業を知ったきっかけは？ ①回覧で 1名 ②民生委員から聞いて 5名

今後も利用したいか？ ①利用したい 6名

サービスメニューの拡大を希望するか？ ①希望する 1名 ②今のままでよい 5名

病院、マッサージ、スーパー等への送迎(タクシーチケットが少ない、Sバス停まで遠い)



載せきれなかったアンケート結果等については、ホームページに掲載しました。ぜひご覧ください！

■高齢男性外出誘発事業 -しんしろまちなか映画祭 2018- 実証実験結果

事業目的・事業概要は裏面をご覧ください

来場者数

①上映会					②展示会	
開催日	タイトル	来場者数	販売枚数	来場率	開催日	来場者数
3/3	ローマの休日	197人	233枚	84.5%	2/28	40人
3/3	嵐を呼ぶ男	123人	167枚	73.6%	3/1	90人
3/4	シェーン	117人	159枚	73.5%	3/2	78人
3/4	あん	267人	323枚	82.6%	3/3	318人
					3/4	354人
	計	704人	882枚	79.8%		880人



アンケート結果

アンケート回収枚数 計 532枚 回収率 75.5%

回収内訳【ローマの休日 161枚・嵐を呼ぶ男 67枚・シェーン 84枚・あん 216枚】

実験 結果



高齢者の年代別来場者数

順位	男性			女性		
	年代	回答数	率	媒体	回答数	率
1	70代	78人	44.6%	70代	125人	36.0%
2	60代	34人	19.4%	60代	111人	32.0%
3	80代	28人	16.0%	80代	41人	11.8%



高齢者の地区別来場者数

順位	高齢男性（60代～）			高齢女性（60代～）		
	地区	回答数	率	地区	回答数	率
1	新城	47人	33.6%	新城	110人	40.0%
2	東郷	27人	19.3%	千郷	40人	14.5%
3	千郷	23人	16.4%	東郷	38人	13.8%



来場した高齢者の世帯状況

順位	高齢男性（60代～）			高齢女性（60代～）		
	世帯	回答数	率	世帯	回答数	率
1	夫婦のみ	75人	53.5%	夫婦のみ	99人	36.0%
2	二世帯	44人	31.4%	二世帯	77人	28.0%
3	その他	8人	5.7%	独居	34人	12.3%

来場した高齢者の同伴者

順位	高齢男性（60代～）			高齢女性（60代～）		
	世帯	回答数	率	世帯	回答数	率
1	夫婦	60人	22.7%	友人	109人	24.0%
2	1人で	59人	22.3%	夫婦	56人	12.3%
3	友人	8人	3.0%	1人で	53人	11.7%



高齢男性外出誘発事業 - しんしろまちなか映画祭2018 -

■ 事業目的

新城地域自治区（新城小学校区）は、市の中心部でありながら、高齢世帯率が高く、上昇傾向にあります。一般的に高齢世帯は、家に閉じこもりがちになりやすく、将来的に認知症の発症リスクの増加や日常生活の助け合いの喪失が懸念されます。既に各行政区においては外出促進の機会として、公民館活動やミニデイなどを実施しているところですが、現場の方たちの声から、高齢男性の参加率が低いことがわかりました。話は変わりますが、新城地域自治区（新城小学校区）には、昭和30～40年代頃、2つの映画館があったことをご存知でしょうか。新城駅前に新富劇場、中町交差点付近には昭和映画劇場という2つの映画館があったそうです。また、この頃のまちなかは新城銀座と呼ばれるほど、多くの人々が訪れ、賑わいがありました。この頃の話、特に映画の話題になると団塊世代の高齢男性の方たちの目が輝き、饒舌になります。そこで、高齢男性の外出促進を目的として、このしんしろまちなか映画祭を新城地域自治区予算事業として開催いたしました。

■ 事業概要

『しんしろまちなか映画祭2018』 平成30年3月3日（土）～3月4日（日） 2日間で4本上映
開催場所 新城文化会館小ホール

3月3日（土）上映作品

「ローマの休日」

1953年 バラマウント 118分
監督:ウィリアム・ワイラー
出演:グレゴリー・ペック
オードリー・ヘプバーン



ローマに滞在中の某小国の王女アンは公務に疲れて、ある夜自由を夢見て公邸から脱走。偶然出会った新聞記者ジョーとの間に恋が芽生える、ラブ・ロマンスの永遠の名作。テレビの泉や真実の口などローマの名所が随所に登場する。



「嵐を呼ぶ男」

1957年 日活 100分
監督:井上梅次
出演:石原裕次郎/北原三枝



石原裕次郎の代表作にして日本映画黄金時代を象徴する作品。ジャズ界を舞台に、流しの若者がトップドラマーにのし上がっていく業界の裏側を描いた青春映画。スティック片手に「おいらはドラマー」と唄いだす名シーンは痛快。



3月4日（日）上映作品

「シェーン」

1953年 バラマウント 118分
監督:ジョージ・スティーヴンス
出演:アラン・ラッド/ヴァン・ヘフリン



南北戦争後のアメリカ西部を舞台に、流れるシェーンと開拓民一家との交流や悪徳牧場主との決闘を描いた、西部劇史上十指に入る傑作。ジョーイ少年の声がか山みこだまするラストシーンは必見。第26回アカデミー賞撮影賞を受賞。



「あん」

2015年 エレファント 118分
監督:河瀬直美
出演:樹木希林/永瀬正敏



どら焼き店で働く元ハンセン病患者の老女が、尊厳を失わず生きようとする姿を丁寧に紡ぐ人間ドラマ。樹木希林が演じる主人公徳江の故郷として、新城市にて撮影が行われた。第68回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門オープニング作品。



■主催：新城まちなか映画祭実行委員会

■後援：新城市教育委員会・新城中部区長会・新城市老人クラブ連合会・[ティーズ]・(株)エフエム豊橋・新城ロータリークラブ・新城ライオンズクラブ

■協力：とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会

『関連企画 昭和懐かしポスター展&しんしろまちなか写真展』

平成30年2月28日(水)～3月4日(日) 5日間開催 開催場所:新城文化会館 展示室

映画祭の盛り上げと映画を見終わった高齢男性が、昔を懐かしみながらお話できる場をつくるために企画



■協力：佐々木順一郎氏（とよはしまちなかスロータウン映画祭実行委員会顧問）、しんしろ城下町の会

発行:新城自治振興事務所 担当:川合 一也(かわい かずや)

【お問合せ】新城市字東入船115 新城市役所本庁舎3階

電話 : 0536-23-7697 FAX:0536-23-2002 メール: shinshiro-jichi@city.shinshiro.lg.jp